

## 施策 1 2 4 ころと身体健康対策の推進

### 基本事業 1 2 4 0 1 健康づくり・生活習慣病予防活動の推進

(主担当 健康増進課)

県民の死因の6割を占める生活習慣病を減少させるため、予防施策の指標として策定した「三重県健康づくり基本計画」の推進により、県民一人ひとりが健康づくりに取り組めるような社会環境の整備を行います。

#### 1 健康づくり総合推進事業

平成 25 年度から 34 年度までの 10 年間の計画期間とした「三重県健康づくり基本計画」の基本的方針である、地域住民の「健康寿命の延伸」と「幸福感を高める心身の健康感の向上」をめざし、伊勢志摩地域においても地域の健康課題の解決にむけ、市町保健行政や職域保健など関係各分野と情報共有及び情報交換の場を設けるとともに健康づくりの主要要素である栄養・運動・休養の啓発を主軸に社会資源の活用も図りながら、生活習慣病予防及び重症化予防を推進しています。

また、平成 30 年度より県民 1 人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むためとその取組を社会全体で支える環境づくりのために「三重とこわか健康マイレージ事業」を始めました。

##### (1) 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催

地域と職域が連携し、生涯を通じた継続的な保健サービスの体制を整備し、効果的な協働による健康づくり事業（メンタルヘルス・自殺対策を含む）を推進することを目的として、各分野（医師会、歯科医師会、事業所、NPO 団体、食生活改善推進協議会、青年会議所、学校保健会、市町行政）代表からなる当懇話会を開催しました。

開催日	内 容	出席者
平成 30 年 9 月 13 日 (木)	① 第 3 次三重県自殺対策行動計画、メンタルヘルス対策、糖尿病重症化予防事業、三重とこわかマイレージ事業、歯科保健の取り組みについて情報共有 ② 自殺予防講演会の共催計画 ③ 意見交換	委員 22 人

##### (2) 管内市町との健康づくり事業の情報共有の実施

地域の健康課題、保健活動の体制状況、本年度の事業予定等について、各市町を訪問し情報収集および意見交換を実施しました。また、その内容については地域保健向上連絡会において管内全市町で情報を共有しました。

訪問日	市町
平成 30 年 5 月 10 日 (木)	大紀町
平成 30 年 5 月 17 日 (木)	度会町
平成 30 年 5 月 18 日 (金)	(午前) 玉城町、(午後) 南伊勢町
平成 30 年 5 月 22 日 (火)	(午前) 鳥羽市、(午後) 志摩市
平成 30 年 5 月 24 日 (金)	伊勢市

### (3) 三重とこわか健康マイレージ事業の実施状況（平成30年度末）

ア 取り組み市町数及	7市町（健康応援カード配布2,584人）
イ 管内特典協力店数	139店舗
ウ 管内取組協力事業所数	3事業所

### (4) たばこ対策

喫煙対策は、防煙・分煙・禁煙支援を3本柱とし、世界禁煙デー・禁煙週間（5/31～6/6）には県伊勢庁舎玄関ロビー等において、啓発物の展示や配布をしました。

### (5) 歯と口の健康づくりの支援

歯科口腔保健の推進に関する法律や条例が施行され法整備が進むなか、「歯と口の健康週間」（6/4～10）、「8020推進月間」（11月）および「いい歯の日」（11月8日）に伊勢保健所事務所等において、ポスターの掲示、のぼりの設置、チラシの配布を行いました。

## 2 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成を図るため、食事バランスに対する理解と「食事バランスガイド」の活用に向けた普及啓発を行うとともに、多様な主体と協働し、食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進しました。

### (1) 野菜フル350推進事業

食生活の現状をみると、県民の全ての年代で野菜の摂取が不足しており、生活習慣病予防の視点などから課題となっています。健康的な食生活が実践できるよう、1日の野菜摂取の目標量を350gとし、野菜摂取の増加（食事バランスガイドで副菜1つの増加）に焦点をあてた事業を推進しました。また、健康的な朝食習慣の定着及び野菜摂取不足の解消を図るために、朝食における野菜摂取を推進しました。

#### ア 普及啓発等

日 時	内 容
① 平成30年6月	食育月間（6月）及び食育の日（19日）の啓発 場所：伊勢庁舎玄関ホール 対象：来庁者、職員 約150人 内容：野菜摂取を促すポスターやクイズの掲示及び「手軽に作れる野菜たっぷりメニュー」の紹介・レシピ等を配布した。また、食育の日は庁内アナウンスを実施した。
② 平成30年 10月8日（月）	「福祉フェスティバル」における健康づくりに関する啓発 場所：三重県営サンアリーナ 対象：来場者480人 内容：食育コーナーのブースを出展し、野菜フル350

	や朝食摂取、栄養成分表示等に関する展示、体験コーナーや啓発物の配布
③ 平成 30 年 10 月 9 日 (火)	商品・くらしの活動交流会 (コープみえ) での啓発 場所：三重県営サンアリーナ 対象：コープみえ会員 (一般) 152 人 内容：「野菜を 350g 食べよう」をテーマにクイズや展示、啓発物品の配布

## イ 健康教育

日 時	内 容
平成 31 年 1 月 25 日 (金)	水土里ネットみえ伊勢志摩支部研修会での講話 場所：伊勢シティホテル 対象：三重県土地改良事業団連合会 伊勢志摩支部 35 人 内容：講話「ロコモティブシンドローム (食生活内容含む) について」

## (2) 食環境整備事業

### ア 「健康づくり応援の店」の登録更新及び情報発信

健康に配慮した食事や健康づくりに関する適切な情報を提供する飲食店を「健康づくり応援の店」として登録及び更新、お店を通じた健康情報の発信をしました。

登録店舗数 59 店舗  
(平成 30 年度 新規 1 店舗、更新 4 店舗)

### イ 「いせしま健康もてなしの店」の取組推進と情報発信

「健康づくり応援の店」登録店であり、健康を視点としたおもてなしを提供するお店を「いせしま健康もてなしの店」として登録しました。また、登録店がそれぞれの持つ多彩な特色を活かし、情報を共有し、連携を進めることにより誰もが楽しく食事ができる店づくりを支援するとともに、オリジナルホームページから情報を発信するなど健康的な食環境の整備を図りました。

登録店舗数 59 店舗 (平成 30 年度新規店 1 店)

### ① 「いせしま健康もてなしの店」推進委員会運営等への支援

開 催 日	内 容
平成 30 年 5 月 9 日 (水)	・ 30 年度事業計画について ・ 研修会について ・ 健康づくり応援の店及びいせしま健康もてなしの店新規登録申込について 等

② 資質向上のための支援

開催日	内 容	参加者
平成 30 年 7 月 12 日 (水)	研修内容:調理実演と講話「1つのレシピか らの応用と味のバランス」 場所:みやぎ野(いせしま健康もてなしの 店)	いせしま健康も てなしの店関係 者等 26 人

③ その他支援

ホームページへの掲載と随時更新

<http://www.pref.mie.lg.jp/NHOKEN/HP/76862045739.htm>

### 3 栄養施行事務事業

#### (1) 給食施設等指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、給食施設の栄養管理に関する指導支援を実施するとともに、非常時の食料備蓄や対応マニュアルの整備状況の確認を重点的に行いました。

また、給食関係者の資質向上を目指した研修会を開催しました。

#### ア 給食施設巡回指導

区 分	管理栄養士配置 の知事指定施設	特定給食施設施設 (知事指定を除く)	一般給食施設	合 計
実施施設数	2	18	25	45

#### イ 給食施設個別相談・指導

相談・指導件数 6 件

#### ウ 給食施設従事者研修会

開 催 日	内 容	参加者
平成 30 年 8 月 8 日 (水)	・講演:「食べるヨロコビのバリアフリー化～離乳食から介 護食～」 講師:つばめ Spoon Project 代表 言語聴覚士 新谷 麻衣 氏 ・グループワーク 「台風等への備えと食事提供について～平成 29 年台風 21 号への備えと被害を振り返り～」 場所:伊勢庁舎 401 会議室	71 人

#### (2) 栄養表示等の指導支援

健康増進法に基づき虚偽誇大広告の禁止、栄養表示基準及び食品表示基準にか  
かる相談・指導を行いました。

・特別用途食品・栄養表示等の相談・指導

相談・指導件数 122 件

### (3) 調査事業

身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、健康増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得るために行いました。

- ・平成30年国民健康・栄養調査 伊勢市朝熊町 23世帯 47人  
志摩市阿児町 11世帯 25人

### (4) 栄養相談指導事業

栄養相談のニーズに応じて個別の栄養指導を行いました。

対 象	妊産婦	乳幼児	20歳未満	20歳以上	合 計
件 数	0	0	0	6	6

### (5) 人材育成・支援

#### ア 市町栄養士支援

- ・市町保健・福祉行政栄養士連絡調整会議の開催 年間3回  
主な取組：「災害時の栄養・食支援について」課題取組、情報交換等

#### イ 地域活動栄養士活動支援

- ・情報提供・情報交換会等 年間12回

#### ウ 食生活改善地区組織活動支援

- ・組織運営及び活動支援等 7回
- ・講演会の開催 1回

内容「ジャガイモによる食中毒を予防する為にできること」

※「こころの健康づくり」については本節基本事業12403に、人材育成としての管理栄養士学生臨地実習は本節基本事業12102に掲載しています。

## 基本事業 12403 心の健康づくりの推進 (主担当 健康増進課)

社会環境の複雑化に伴い、地域ではさまざまな心の健康問題が起こっています。心の交流を豊かにすることで住民が地域で孤立せず、誰もが住み良い地域づくりをめざして各事業を実施しています。

### 1 対面相談支援事業

保健師による心の相談

自殺関連 11 件 (うち 2 件訪問)、自死遺族支援 0 件 (うち 0 件訪問)

### 2 人材育成事業

市町保健所及び相談支援関係者スキルアップ研修 2 回開催 56 名 (延べ)

### 3 普及啓発事業

#### (1) 自殺予防講演会

\* 3 月からの自殺対策強化月間に合わせ、伊勢市との共催にて実施

開催日	内容及び対象	人数
平成 31 年 2 月 27 日	(講演) 「子ども・若者の心の健康をどう支援するか～Yesnet (四日市早期支援ネットワーク) による連携」 (講師) 総合心療センターひなが 医療福祉科リーダー (精神保健福祉士・社会福祉士) 牛場 裕治 氏 (対象) 一般住民、学校関係者、保健師、社会福祉士、民生委員、関係者等	40

#### (2) 自殺予防週間啓発

開催日	内容
平成 30 年 9 月 10 日 ～ 9 月 20 日	・ 県伊勢庁舎玄関ロビーにコーナーを設置し、「自殺予防週間」啓発のため、ポスター掲示及びポケットティッシュの配布を行った。 ・ 月間を通じて保健所窓口に啓発用ポケットティッシュを設置し啓発を行った。

(3) 自殺対策強化月間啓発

実施期間	内容
平成 31 年 3 月 1 日	・ミタス伊勢（主にバロー）において街頭啓発 啓発物品の配布と「自殺対策強化月間の呼びかけ」
平成 31 年 2 月 22 日 ～ 3 月 8 日	・庁舎内に啓発コーナーを設置 のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布

(4) ホームページによる自殺予防啓発

自殺予防講演会、自殺対策強化月間についてホームページに掲載し、広く住民への情報提供を行った。

#### 4 関係機関との連携等

(1) 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催

ア 日時：平成 30 年 9 月 13 日（木）午後 3 時から午後 4 時 30 分

イ 内容：メンタルヘルス対策、受動喫煙防止対策、糖尿病重症化予防事業、三重とこわかマイレージ事業、歯科保健について情報共有

(2) その他

自殺予防講演会、及び自殺対策強化月間の街頭啓発において、伊勢市の協力を得ながら実施した。

## 基本事業 1 2 4 0 4 難病対策の推進

(主担当 地域保健課・衛生指導課)

難病患者の病気や日常生活に対する不安の軽減を図るため、保健所において特定医療費受給申請時に面接を行い状況を把握します。

また、保健師などによる家庭訪問を実施し、患者の病状変化に応じた援助を行い、地域における支援体制の充実を図ります。

### 1 難病対策の状況

「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき、原因が明らかでなく治療困難でかつ長期の療養を必要とする難病患者の医療費の負担軽減を図るとともに、患者および家族等への療養支援や生活支援を行い精神的・身体的不安の軽減を図りました。

また、先天性血液凝固因子障害等の患者に対し、医療費の公費負担を行い精神的・身体的不安の解消を図りました。

#### (1) 特定医療費受給者の状況

患者数が少なく治療が極めて困難であり、長期の療養を要し、高額な治療費を必要とする難病法に基づき指定された 3 3 1 疾患のうち下記の疾患患者について医療費の自己負担を軽減し治療の促進を図りました。

平成31年3月31日現在

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
1	球脊髄性筋萎縮症	2	0	1	0	0	0	0	3
2	筋萎縮性側索硬化症	12	3	3	0	0	0	3	21
5	進行性核上性麻痺	8	1	2	2	0	2	2	17
6	パーキンソン病	142	22	47	11	8	11	25	266
7	大脳皮質基底核変性症	3	2	1	0	0	0	0	6
8	ハンチントン病	4	0	0	0	0	0	0	4
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	0	0	0	0	1	0	1
11	重症筋無力症	30	2	11	2	1	4	2	52
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	26	1	6	3	2	0	3	41
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	6	1	4	1	1	0	2	15
15	封入体筋炎	1	1	0	0	0	0	0	2
17	多系統萎縮症	6	2	4	1	1	0	0	14
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	26	7	15	3	2	2	4	59
19	ライソゾーム病	1	0	0	0	0	0	0	1
20	副腎白質ジストロフィー	0	0	1	0	0	0	0	1



番号	市町名 疾病名	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	合計
21	ミトコンドリア病	0	0	0	0	0	0	1	1
22	もやもや病	5	3	3	1	3	0	1	16
24	亜急性硬化性全脳炎	1	0	0	0	0	0	0	1
26	HTLV-1関連脊髄症	0	1	1	0	0	0	0	2
27	特発性基底核石灰化症	0	0	1	0	0	0	0	1
28	全身性アミロイドーシス	4	1	0	0	1	0	0	6
34	神経線維腫症	3	2	2	0	0	0	0	7
35	天疱瘡	2	0	2	0	1	1	0	6
36	表皮水疱症	0	0	1	0	0	0	1	2
37	膿疱性乾癬	0	0	1	2	0	0	3	6
38	スティーブンス・ジョンソン症候群	1	0	0	0	0	0	0	1
40	高安動脈炎	4	0	1	0	0	0	0	5
42	結節性多発動脈炎	5	0	1	0	0	0	1	7
43	顕微鏡的多発血管炎	7	2	1	1	1	0	0	12
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	2	0	1	0	0	0	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	0	0	0	0	0	0	2
46	悪性関節リウマチ	13	2	6	1	1	1	1	25
47	バージャー病	2	0	1	0	0	0	1	4
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	0	0	0	0	0	0	2
49	全身性エリテマトーデス	47	11	21	7	3	1	6	96
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	27	6	16	1	1	2	4	57
51	全身性強皮症	36	3	17	3	0	4	7	70
52	混合性結合組織病	8	2	5	0	1	0	3	19
53	シェーグレン症候群	22	3	10	1	1	1	6	44
54	成人スチル病	1	0	1	0	0	0	0	2
55	再発性多発軟骨炎	0	0	1	0	0	0	0	1
56	ベーチェット病	18	6	7	2	1	0	0	34
57	特発性拡張型心筋症	43	8	20	2	4	3	5	85
58	肥大型心筋症	5	0	3	1	0	0	2	11
60	再生不良性貧血	6	2	2	0	1	0	0	11
61	自己免疫性溶血性貧血	0	0	0	1	0	0	0	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	0	0	0	0	0	0	2
63	特発性血小板減少性紫斑病	10	1	5	2	0	0	3	21
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0	1	0	0	0	0	0	1
65	原発性免疫不全症候群	2	0	0	0	0	1	1	4

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
66	IgA 腎症	5	0	1	0	1	0	0	7
67	多発性嚢胞腎	6	3	2	0	0	0	3	14
68	黄色靭帯骨化症	3	0	3	0	2	0	2	10
69	後縦靭帯骨化症	43	8	14	7	4	3	7	86
70	広範脊柱管狭窄症	1	0	1	0	0	2	2	6
71	特発性大腿骨頭壊死症	8	2	2	0	0	1	0	13
72	下垂体性ADH分泌異常症	5	1	3	0	2	0	0	11
74	下垂体性PRL分泌亢進症	8	1	2	0	0	0	0	11
75	下垂体性ACTH分泌亢進症	1	0	0	0	0	0	0	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	2	1	0	0	3	0	0	6
78	下垂体前葉機能低下症	10	1	3	0	0	0	1	15
82	先天性副腎低形成症	0	0	0	0	0	0	1	1
83	アジソン病	0	0	1	0	0	0	0	1
84	サルコイドーシス	20	3	15	2	2	2	1	45
85	特発性間質性肺炎	22	5	10	3	1	1	3	45
86	肺動脈性肺高血圧症	1	0	0	0	0	1	1	3
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3	1	0	0	0	0	0	4
90	網膜色素変性症	22	6	15	10	4	3	6	66
93	原発性胆汁性胆管炎	46	5	19	5	6	2	3	86
94	原発性硬化性胆管炎	2	0	1	0	0	0	0	3
95	自己免疫性肝炎	3	0	1	0	0	0	0	4
96	クローン病	33	3	4	3	3	6	0	52
97	潰瘍性大腸炎	113	13	46	13	6	7	12	210
98	好酸球性消化管疾患	1	2	0	0	0	0	0	3
113	筋ジストロフィー	5	4	1	0	0	0	2	12
119	アイザックス症候群	0	0	1	0	0	0	0	1
122	脳表へモジデリン沈着症	1	0	0	0	0	0	0	1
127	前頭側頭葉変性症	3	0	0	0	0	0	0	3
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん	1	0	0	0	0	0	0	1
161	家族性良性慢性天疱瘡	1	0	1	0	0	0	0	2
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	9	1	3	0	0	0	2	15
171	ウィルソン病	2	0	0	0	0	0	0	2
179	ウィリアムズ症候群	0	0	0	1	0	0	0	1
193	プラダー・ウィリ症候群	0	0	1	0	0	0	0	1
210	単心室症	1	0	0	0	0	0	0	1

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
215	ファロー四徴症	1	0	2	0	0	0	1	4
220	急速進行性糸球体腎炎	2	0	1	0	0	0	0	3
222	一次性ネフローゼ症候群	7	0	2	2	0	0	0	11
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	0	1	0	0	0	0	1
224	紫斑病性腎炎	1	0	0	0	0	0	0	1
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	0	2	0	0	0	0	3
227	オスラー病	1	0	0	0	0	0	0	1
254	ポルフィリン症	0	1	0	0	0	0	0	1
256	筋型糖原病	0	0	0	1	0	0	0	1
262	原発性高カイロミクロン血症	1	0	0	0	0	0	0	1
271	強直性脊椎炎	6	1	5	0	0	0	1	13
276	軟骨無形成症	1	0	0	0	0	0	0	1
283	後天性赤芽球癆	1	0	0	0	0	0	0	1
289	クロンカイト・カナダ症候群	1	0	0	0	0	0	0	1
300	I g G 4 関連疾患	4	0	0	0	1	0	0	5
301	黄斑ジストロフィー	0	1	0	0	0	0	0	1
306	好酸球性副鼻腔炎	6	1	5	0	0	0	0	12
331	特発性多中心性キャッスルマン病	0	0	0	1	0	1	0	2
合 計		960	162	392	97	69	63	135	1,878

## （２）特定疾患治療研究事業

平成31年3月31日現在

### ① スモン治療受給者状況 2件

### ② 先天性血液凝固因子障害治療受給者状況

番号	病 名	件 数
1	第Ⅰ因子（フィブリノゲン）欠乏症	—
2	第Ⅱ因子（プロトロピン）欠乏症	—
3	第Ⅴ因子（不安定因子）欠乏症	—
4	第Ⅶ因子（安定因子）欠乏症	—
5	第Ⅷ因子欠乏症（血友病A）	8
6	第Ⅸ因子欠乏症（血友病B）	1
7	第Ⅹ因子（スチュアートブラウア因子）欠乏症	—
8	第ⅩⅢ因子（フィブリン安定化因子）欠乏症	—
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブラント)病	8
合 計		17

## 2 難病在宅ケア事業

- ・ 難病患者の療養生活を支援し、QOLの向上を目指します。
- ・ 在宅患者及び家族の在宅ケアの充実を図ります。
- ・ 各関係機関との連携を強化していくことにより、地域支援体制の基盤を作ります。

### (1) 特定医療（指定難病）申請時等面接の実施

患者個々の状況や療養上の困りごと及び問題点を明確にし、必要なケアを行うため、申請手続に来所した患者・家族に対し面接及び電話による相談支援を行いました。

新規申請 : 323件  
個別面接 : 延べ 29件  
電話相談 : 延べ203件

### (2) 訪問相談等の実施

主に筋萎縮性側索硬化症等の神経筋疾患患者および家族等への訪問による療養支援及び生活支援を行いました。

訪問人数 : 延べ15人（実人員 5人）

### (3) 医療相談事業

日時：平成30年10月28日（日） 13時～15時

場所：三重県伊勢庁舎 4階 401・402会議室

対象：特定医療費受給者

参加人数：35名

内容：医師による個別相談 8件  
疾患別相談 21件  
就労相談 2件  
福祉制度相談 3件  
難病生活相談 2件  
その他 1件

## 3 肝炎治療特別促進事業

B型、C型肝炎のウイルス除去を目的に、抗ウイルス治療（インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療）にかかる医療費の自己負担の軽減を図りました。

（平成20年4月1日から事業開始）

## (1) 公費負担医療状況

平成30年4月1日～平成31年3月31日

区 分	申請件数	承認
インターフェロン治療（3剤併用療法除く）	0	0
インターフェロンフリー治療	43	43
核酸アナログ製剤治療（新規）	22	22
核酸アナログ製剤治療（更新）	126	126
合計	191	191

## 4 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾に被爆し、今なお特別な状況にある者に対して、医療特別手当の支給等の措置を講じ、その福祉の向上を図るとともに、健康診断及び医療費助成を行い、健康の保持を図りました。

## (1) 健康手帳交付、手当受給状況

平成31年3月31日現在（単位：人）

区 分		市町名							合 計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
健康手帳 交付状況	男	9	3	9	2	0	0	2	25
	女	9	3	5	1	0	0	0	18
	計	18	6	14	3	0	0	2	43
各 種 手 当	医療特別手当	0	0	1	0	0	0	0	1
	特別手当	0	0	1	0	0	0	0	1
	保健手当	2	1	0	0	0	0	0	3
	健康管理手当	16	5	12	3	0	0	2	38
	葬祭料※	(2)	0	(2)	0	0	0	(1)	(5)
	計	20	6	16	3	0	0	3	48

※葬祭料については、平成30年度年間の死亡者数としました。

## (2) 健康診断受診者状況

(単位：人)

定期健康診断	検査項目	一般検査	肝機能検査	ヘモグロビンA1c
	第1回春	21	20	20
	第2回秋	19	17	9

がん検診 (希望による)	胃がん	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん	多発性 骨髄腫
	2	2	2	0	2	2

## 5 骨髄バンク事業

骨髄移植とは、白血病や再生不良性貧血などの血液難病におかされた患者の骨髄幹細胞を骨髄提供者（ドナー）の健康な骨髄幹細胞に入れ替える（実際は骨髄液を点滴静注する）治療のことです。しかし、移植のためには、患者とドナーのヒト白血球型抗原であるHLA型が一致しなければなりません。一致する確率は兄弟姉妹型で4分の1です。しかし、親子ではまれにしか一致せず、非血縁者間では、さらに数百～数万分の1の確率でしか一致しません。

このため、各種イベント会場等において「三重県骨髄バンク推進連絡協議会（勇気の会）」等関係団体の協力を得て骨髄バンク登録の啓発を図るとともに、献血ルーム「ハートワン」と臨時登録会で骨髄提供希望者の登録受付を行っています。

### (1) イベント会場での啓発活動及び骨髄提供者登録受付の実施

臨時登録受付

登録者 16名

実施日	場 所	登録者数
平成30年7月17日(火)	鳥羽ショッピングプラザハロー	0
平成30年7月29日(日)	イオンタウン伊勢ララパーク	8
平成30年10月27日(土)	皇學館大学 倉陵祭	1
平成31年3月21日(木)	イオン阿児店	7